

(3) ワークショップ体験（進行：会津大学 藤井准教授）

- まず、オープンデータを活用したワークショップの意義について説明がありました。具体的には、今後の行政運営には地域住民の協力を得ることが必要不可欠となり、オープンデータをひとつのツールとして行政職員が地域住民と対話し説得（ファシリテート）することの重要性が示唆されました。
- 続いて、4人グループ×4テーブルに分かれて「思わずオープンデータを公開したくなるには？」をテーマにワークショップを行いました。今回は、短時間に多くのアイデアを生み出すブレインライティングという手法によりワークしました。
- 発表は、「地域が活性化する」「仕事が効率化する」「便利なアプリができる」といった内容のほか、「家族と過ごす時間が増え、奥さんから褒められる」といった意見には笑いが起るなど、楽しく充実した雰囲気で行われました。

ワークショップの本質は住民とのコミュニケーションだと示唆する藤井准教授



参加者全員で発表者のテーブルを囲む
↓面白いコメントに参加者の表情も緩む



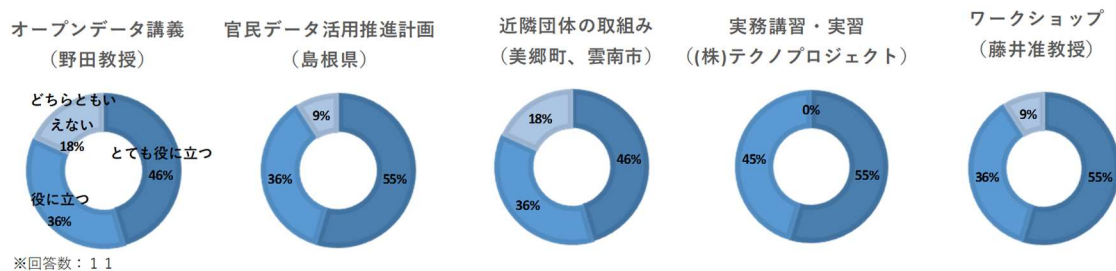
「アプリ」が共通キーワードに。参加者の
↓オープンデータへの理解が深まった証



3. 参加者の声（参加者アンケートより）

研修プログラムに関しては、参加者の方から概ね好評を得ることができました。

参加者アンケートの結果



■ 研修会の主な感想

- ・ 庁内の職員にもある程度は説明できるようになった
- ・ データの登録だけでなく、データの作成方法についても学びたかった

■ オープンデータの取組みを進める上で困っていること

- ・ 職員向け説明会の内容
- ・ 取組み担当部署や担当者がいない 等

■ オープンデータ推進のためにどんな支援が必要か

- ・ オープンデータ作成から公開に至るまでの実習
- ・ 首長等幹部への必要性の説明
- ・ 財政支援 等

4. オープンデータ化支援研修

今回の研修を踏まえ、美郷町ではオープンデータ担当者が総務省の支援を受けて役場内の原課職員向けの研修会を企画・実施します。この研修会は平成31年1月24日（木）に美郷町役場において「総務省オープンデータ化支援研修」として開催されます。（他市町村職員の参加も可能）この研修会の様子についても、後日、レポートにより報告する予定です。

※研修資料をオープンデータ化しています

本研修で使用した講義資料は、「総務省オープンデータ 研修ポータル」及び「島根県オープンデータカタログサイト」において、出典が記載されているものを除いてCC-BYライセンス（出所明記で自由に二次利用可能な規約のこと）で公開されています。

総務省 オープンデータ 研修ポータル	https://www.opendata-training.org/
島根県オープンデータカタログサイト	https://shimane-opendata.jp/

【参考】12/26 オープンデータリーダー育成研修 プログラム

平成30年度
 「オープンデータを推進する地方公共団体職員の人材育成等に関する実証」
第8回 オープンデータリーダー育成研修

○日 時：2018年12月26日（水） 10:00～16:30
 ○場 所：島根県庁 6階 講堂

プログラム

開始時間	配分	内容	担当（敬称略）
10:00	5分	挨拶	島根県 地域振興部 情報政策課 課長 錦織 秀
10:05	10分	研修概要・プログラム説明	
10:15	5分	受講者自己紹介	
10:20	40分	① 地域におけるオープンデータ推進支援	島根大学法文学部 教授 野田 哲夫
11:00	10分	② 都道府県の官民データ活用推進計画	島根県 地域振興部 情報政策課 田坂 裕嗣 広瀬 研一郎
11:10	15分	③ 近隣団体の取組み事例	美郷町 企画財政課 課長補佐 佐竹 一輝 雲南市 政策企画部 情報政策課 主幹 原 大輔
11:25	30分	④ 実務講習 1	
11:55	60分	<昼休憩>	
12:55	40分	⑤ 実習	
13:35	30分	⑥ 実務講習 2	
14:05	15分	<休憩>	
14:20	60分	⑦ ワークショップ	会津大学産学イノベーションセンター 准教授 藤井 靖史
15:20	10分	⑧ オープンデータリーダーの皆様へのお願い	
15:30	10分	⑨ 質疑応答	
15:40	30分	⑩ テストとアンケート	
16:10	20分	修了証書授与 挨拶	総務省 中国総合通信局 情報通信部 情報通信振興課 課長 橋 亨

（出典）総務省オープンデータ研修ポータル